

『北海道クルーズ・旅客船メルマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 情報：北海道クルーズ振興協議会総会を開催
～クルーズ客船の新規寄港誘致を目指して～
2. 情報：クルーズに出かけてみませんか？
～日本船3隻の2019年度下期スケジュールのご紹介～
3. 地域：離島観光マル得情報！
～一度は離島へ行ってみませんか！～
4. 情報：今年の「海の日」は7月15日です！
～海の月間に全道各地でイベント開催～
5. 情報：夏を彩る風物詩 熱い小樽を体験しに来ませんか？
～おたる潮まつり他 各種イベントをご紹介～
6. 情報：「クルーズなんでも屋」vol. 51！
～クルーズブーム到来か！！～
7. 事務局からのお知らせ

1. 情報：北海道クルーズ振興協議会総会を開催
～クルーズ客船の新規寄港誘致を目指して～

令和元年6月10日（月）、札幌第2合同庁舎9階講堂において、北海道クルーズ振興協議会第16回総会を開催しました。

会場の様子や詳細は、北海道運輸局広報誌「北斗七星」をご覧ください。
http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/kakusyuu/kouhoushi/hokuto7/01_6/index.html

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 鎌田
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

2. 情報：クルーズに出かけてみませんか？
～日本船3隻の2019年度下期スケジュールのご紹介～

「にっぽん丸」「ぱしふいっくびいなす」「飛鳥Ⅱ」の2019年度下期のクルーズスケジュールを発表しておりますので、一部をご紹介します。一度、クルーズ船による優雅な船旅を楽しんでみませんか？

「にっぽん丸」では年越しを海外にしながらも、日本らしいお正月を迎えることのできる「にっぽん丸迎春クルーズ」や豪華エンターティナーによるクリスマスコンサートなどのイベントがある「サンタクルーズ」「クリスマスクルーズ」などが予定されています。

「ぱしふいっくびいなす」では、幸せの国ブータンや癒しの国ラオスなどを訪ねる「ゆったりアジアクルーズ」専用のマス席から豪華絢爛な祭礼「長崎くんち」を観覧する「長崎くんち・鹿児島・高知クルーズ」など予定されております。

「飛鳥Ⅱ」の「ディスカバー・アジアクルーズ」は、上海、香港などアジアの国々を訪れるツアーや、103日間をかけて世界の大自然や芸術文化を堪能する「世界一周クルーズ」。気軽に参加できるワンナイトクルーズなど多彩なクルーズが予定されています。

各船のスケジュール等の詳細は、以下のホームページをご覧ください。

○にっぽん丸 <https://www.nipponmaru.jp/>
○ぱしふいっくびいなす <http://www.venus-cruise.co.jp/>
○飛鳥Ⅱ <https://www.asukacruise.co.jp/>

なお、注目の商品は雑誌「CRUISE」8月号で紹介されております。
「日本船3船、注目したい新商品はこれ！」をご覧ください。
https://www.cruise-mag.com/current_mag/index.html

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

3. 地域：離島観光マル得情報！ ～一度は離島へ行ってみませんか！～

○礼文島ウェルカム&バックキャンペーン

礼文島観光協会では、礼文島に宿泊して体験プログラムに参加すると帰りのフェリー運賃を無料にする「礼文島ウェルカム&バックキャンペーン」を実施いたします。（7月1日～10月31日）

当該キャンペーンは、礼文島までの片道フェリーチケットを購入し、礼文島内で対象宿泊施設に1泊以上宿泊、そして礼文島内で対象体験プログラムを1つ以上行くと、礼文島からの帰りのフェリー2等旅客運賃が無料になるものです。※1,000名限定
ただし、事前予約が必要であること等、条件がありますのでご利用の際は必ずお電話等にてお問い合わせ下さい。

- ①礼文→稚内 通常運賃2,800円が無料
- ②礼文→利尻 通常運賃 910円が無料

【礼文島観光協会】
<http://www.rebun-island.jp/>
TEL：0163-86-1001

【フェリー予約】
・ハートランドフェリー
<http://www.heartlandferry.jp/>
TEL：0162-23-3780（稚内支店）

○乗用車歓迎キャンペーン

奥尻観光協会では、島内で使える商品券10,000円をプレゼントする「奥尻島乗用車歓迎キャンペーン」を実施しています。
（6月1日～11月15日まで）

当該キャンペーンは、観光目的で奥尻島の宿泊施設を2名以上で宿泊し、なおかつフェリー自動車航送（乗用車（6m未満））を利用することを条件に、島内で使える賞品券10,000円が先着1,000名にプレ

ゼントされるものです。
ただし、キャンプや日帰りは対象外であること、電話・インターネットによる事前予約が必要であること、適用となる車種があるなど、条件がありますので、ご利用の際は必ずお電話等にてお問い合わせ下さい。

【奥尻観光協会】

<http://unimaru.com/>
TEL : 01397-2-3456

【フェリー予約】

・ハートランドフェリー
<http://www.heartlandferry.jp/>
TEL : 0139-52-1066 (江差支店)

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 村野
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

4. 情 報 : 今年の「海の日」は7月15日です！
～海の月間に全道各地でイベント開催～

毎年7月の第3月曜日は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の反映を願う日」である国民の祝日「海の日」です。
また、7月1日～31日の「海の月間」は「海」に対する理解と認識を高めていただくために設けられており、全国各地で様々なイベントが行われています。

ぜひ、ご家族で海のイベントにご参加しませんか？

○海の日・海の月間（北海道運輸局HP）

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/uminogekkan/index.html>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 野村
mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp

5. 情 報 : 夏を彩る風物詩 熱い小樽を体験しに来ませんか？
～おたる潮まつり他 各種イベントをご紹介します～

家族でカップルで短い夏を思う存分に楽しんでみませんか？
小樽の夏の風物詩となっているイベントをご紹介します。

【第53回おたる潮まつり開催 ～弾む鼓動！躍動の夏！～】

おたる潮まつりは、「海への感謝と、郷土小樽の発展を全市をあげて祈念する」をテーマに、多彩なイベントが目白押し。
開催期間中には120万人の来場者数を誇る、「日本で一番小樽が好きになる」、「熱い小樽市民」を感じてください。

会 場 : 小樽港第3号ふ頭、市内中心部

開催日 : 7月26日(金) 初日 潮ふれこみ 大花火大会
7月27日(土) 2日目 潮ねりこみ
7月28日(日) 最終日 神輿パレード 大花火大会
おたる潮まつり公式サイト <http://otaru.ushiomatsuri.net/>

【第11回小樽がらす市 全国の硝子工房等が「硝子の街小樽」に集結】

同日開催で小樽がらす市も開催しています。北海道最古の鉄路「旧国

鉄手宮線」で郷愁を感じながら硝子職人の愛情が込められた作品に出会ってはいかがでしょうか。
あなたにだけ感じられる作品がここにはあります。

会場：旧国鉄手宮線（小樽市色内1丁目15）、色内広場（市立小樽文学館・美術館中庭）

開催日：7月26日（金）～28日（日）

小樽市HP

https://www.city.otaru.lg.jp/kankou/event/glass_market/summer/glassmarket/glassmarket11.html

【第2回おたる浴衣ウィーク ～ちょっと小樽でハイカラさん】
浴衣を着て、小樽の街で、写真を撮ったり、デートをしたり、浴衣姿でうれしいサービスも受けられる、そんな夏の10日間。夏の思い出にいかがでしょうか。

会場：都通り商店街、サンモール一番街商店街、梁川商店街、花園銀座商店街、堺町通り商店街

開催日：7月26日（金）～8月4日（日）

おたる浴衣ウィーク公式サイト <http://otaruyukataweek.wixsite.com/2018>

【第10回小樽堺町ゆかた風鈴まつり ～夏の小樽におこしやす～】
記念すべき第10回特別企画として、「小樽太夫道中～小樽花街物語」を開催。北前船の交易により経済発展してきた商都小樽の光と影の歴史を語り継ぐ催しとして、90年の時を経て今ここに復活し、令和元年に相応しい内容で実施します。

会場：堺街通り商店街、メルヘン広場

開催日：8月3日（土）～4日（日）

小樽観光協会HP <https://otaru.gr.jp/summer>

<問い合わせ先>

北海道運輸局 観光部 観光企画課 田中

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

6. 情報：「クルーズなんでも屋」vol. 51！ ～クルーズブーム到来か！！～

最近クルーズに関して新聞、フリーペーパーでの報道やテレビ番組での紹介など露出が多くなって来てませんか？

TBSテレビ系列『マツコの知らない世界』での「クルーズ特集」はご覧になったでしょうか。

「マツコの知らない豪華客船の世界」として、一時間の特集で放映されました。第4弾だそうで「日本発着の主な豪華客船の楽しみ方」や、「各港の誘致合戦の模様」、さらに「おひとり様クルーズ旅行」などが紹介されていました。

クイーンエリザベス日本一周クルーズのコーナーでは「函館港のおもてなしに密着」として、「幼稚園児のよさこいソーラン節の踊り」や、函館遺愛女子高校英語科の「通訳ボランティア」（女子高生の通訳ガイド）や同じく遺愛女子高校の「船内での吹奏楽の披露」など素晴らしい取組が全国放送で丁寧に紹介されていました。

また、「おひとり様」でも楽しめるクルーズとして「マツコさん」も興味津々とのことで、「ひとり旅しかしないマツコさん」として「独り

身には朗報でございます」とのコメントがあり、思わず「是非、乗ってもらえば！」とつい突っ込んでしまいました。

メディアの力も借りて「クルーズ」の魅力が伝わり関心を持つ方が増えることが「寄港誘致」には欠かせない取組です。
引き続き、広報活動に力を入れる決意をするとともに、地域の努力がこのような形で報われることをうれしく思いました。

TBSテレビ系列『マツコの知らない世界』

【日本で乗れる！豪華客船の世界！】アーカイブ

<http://www.tbs.co.jp/matsuko-sekai/archive/20190604.html>

<問い合わせ先>

クルーズなんでも屋

<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>

7. 事務局からのお知らせ

事務局では、会員等の皆様からの、ネタを募集しております。
クルーズ船が入港する、現場でしかわからない情報などは、特に歓迎いたします。
ただし、記事の構成上、必ずしも掲載をお約束できませんので、その際にご容赦ください。

▼1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

▼2

購読新規登録はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

▼3

登録変更

件名を【登録変更】とし、変更前・後のメールアドレスをご記載の上、当メールにご返信願います。

▼4

登録解除

件名を【登録解除】とし、登録解除アドレスをご記載の上、当メールにご返信願います。

北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 野村 健
TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021
<mailto:hkt-hok-kaijishinkou@mlit.go.jp>
